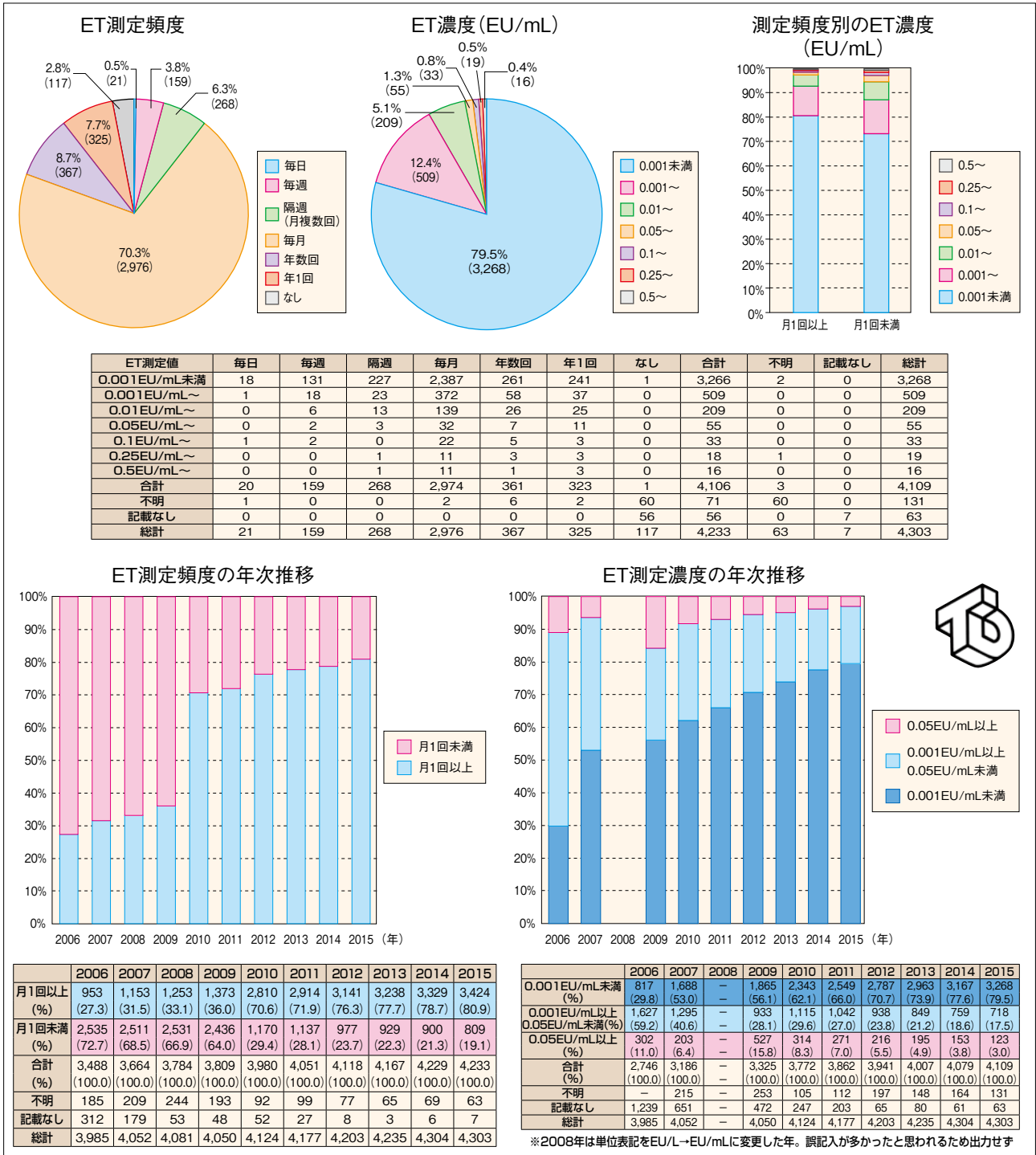


1) 透析液水質管理

(1) 透析液エンドトキシン (ET) 検査 (図表27)



解説

ベッドサイドコンソールを1台以上有する4,303施設のうち、透析液ET測定頻度は4,233施設 (98.4%)、ET濃度は4,109施設 (95.5%) から不明以外の回答が得られた。

2008年に示された日本透析医学会が示す水質基準では、透析液ET測定頻度は月1回以上を推奨しているが、80.9%がこれに合致し、その割合は年々増加傾向を示している。

日本透析医学会の水質基準ではすべての透析治療に超純粋透析液 (ET 0.001EU/mL未満を担保) を推奨しており、標準透析液 (ET 0.05EU/mL未満) を必要最低限の水質としている。2015年末の調査では、0.001EU/mL未満が79.5%、0.05EU/mL未満が97.0%で達成されており、いずれもその割合は年々増加傾向を示している。

施設調査による集計